



平成25年3月15日 第2巻(第47号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F
災害対策本部 TEL (03)3351-5038
FAX (03)5366-1058
mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

*** 目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策本部からのお知らせ
4. 事務所感想文



RCI thank you party 会場のメッセージボード

*** 1. 現地支援活動報告

活動期間:2013年3月5日~3月7日

高木 雄允(石川県 金沢医科大学病院)

石巻・女川地域に行って、テレビで観ていた様子や想像していたものとは違い、震災の恐ろしさ、震災が地域の方から奪っていったものの大きさを肌で感じました。

今回活動に参加して印象に残っているのは、震災による問題には、震災があつて生じた問題もあるが、震災がある前から抱えていた問題もあったということでした。元々あった問題は、家族関係や地域性などで何とかカバー出来ていたことが、震災を機に表面化しているので、フォーマルな支援だけでは解決しきれないことを、インフォーマルな資源も活用できるように支援していくことが必要だと感じました。それと同時にソーシャルワーカーがクライアントと一緒に生活を考え、支援していくこと、「聴くこと」の大切さを改めて教えられた気がしました。

震災から2年近く経つが、復興はまだまだこれからであること、心理的な問題や経済的問題を抱える方がまだまだいるので、これから地域の方がどう生活していくかソーシャルワーカーによる支援がまだまだ必要とも感じました。

被災者の自宅訪問や地域サロンへの参加で、地域の方が震災の被害に遭いながらも懸命に生きる姿、家族を失いながらも力強く生きる姿も見ることができました。その姿を見て、被災者の方は決して弱い人ではないということを改めて教えられた気がしました。

この3日間は私が色々なことを教えて頂き、元気をいただいたと感じています。まずは私が見たこと、感じたこと、学んだことを持って帰り、自分の言葉で職場や家族等に伝えていこうと思います。

<参加を検討している方へのメッセージ>

現地で活動してみなければ、分からないことがたくさんあります。私も活動に参加する前は、不安もたくさんありましたが、現地の方にパワーをいただくことができ、活動に参加して良かったと思っています。現地での活動参加に迷っているのであれば、参加することをおすすめします。必ず1つ以上は、何かを感じ、職場へ持って帰ることができると思います。

*** 2. 現地感想文

*** 2/26 富永 千晶 (現地担当)

石巻にいても、昨日の地震で被害の多かった地域を思うと心が痛くなります。本
当に、地震が多いですね。みなさまも、どうぞご自愛くださいませ。

*** 3/1 富永 千晶 (現地担当)

天気予報では温かくなると思っていたのに、底冷えする石巻です。3月6日に、RCIで
「流し焼き」というイベントを企画されています。「流し焼き」とは、小麦粉とおだしで薄焼き
にする昔ながらのおやつとのこと。担当している方々をお誘いして、当日は私も参加して
みようと思います。

*** 3/5 富永 千晶 (現地担当)

来週は、災害から2年目の日です。石巻市でも、追悼式が開催されるとのこと。参加す
る予定です。

日時：平成25年3月11日（月）午後2時30分（開場：午後1時）

式典終了後から午後5時までは、ご遺族以外の方も献花できます。

場所：河北総合センター（ビックバン）

*** 3/6 富永 千晶 (現地担当)

本日は、RCIの集団支援の一環である「流し焼き」のイベントに参加してきます。渡波地
区です。なんと、参加総数が、50人！地域交流の輪が広がるといいですね。
本日の石巻は、温かくて気持ちがいいです♪

*RCI：石巻医療圏 健康・生活復興協議会

*** 3/7 富永 千晶(現地担当)

昨日は、集団支援として渡波地区でのイベントに参加してきました。約50の方が参加されて、にぎやかに笑顔あふれる時間を一緒にすごしました。でも、震災2年目が近いということで震災当時の話や避難所での生活について話をしてくださることが多かったです。語れること、そして笑えることが復興に向かって生活されている方々の明日の力になっていくのだと感じました。私たちは、その力をどう支援していけるかがこれからの課題であると思いました。

流し焼きのレシピ

<材料>

小麦粉	400グラム
砂糖	大さじ 5
卵	2個
みそ(赤)	大さじ3
ねぎ	120グラム (小口切り)
ベーキングパウダー	少々
油	少々
水	550ml

<作り方>

- ① かつおぶしは、最初から煎りして風味を出しておく。
- ② 砂糖、みそ、卵を混ぜ合わせる。
- ③ ②に水を入れて、小麦粉を混ぜる。
- ④ ねぎ、かつおぶしを混ぜ合わせて焼く。

少し薄味でしたので、味付けはお好みで～。石巻の昔からある、おやつだそうです。

*** 3/8 久保木 美由紀(現地担当)

震災後2回目の3月11日が近付いてきています。本日のNHKスペシャル午後10時から石巻市の大川小学校の特集が放映されます。お時間のある方は見て頂ければと思います。

*** 3/9 高木 雄允(金沢医科大学病院)

被災された方々のお話を聴くことができ、普段病院で感じるできない体験をしました。被災地で頂いた力や感じたことを少しでも持ち帰り、まず職場で伝えていきたいと思っています。

(活動期間:H25年3月5日~3月7日)

*** 3/9 川口 雄幸(金沢脳神経外科病院)

3日間の活動を通して被災から2年たちますが問題は全て解決しておらず、今も様々な問題を抱えていることが分かりました。その中でも必死に生きよう、復興しようとしている姿に逆に自分が力をもらうことが多かったように感じます。ここでもらった力を帰ってからの業務に生かしていきたいと思います。

(活動期間:H25年3月5日~3月7日)

*** 3/11 富永 千晶(現地担当)

今日で、発災からまる2年が経ちました。昨夜は、強い風のなか凍える寒さと雪が舞い散るなか東京から戻ってきました。2011.3.11のあの時は、雪の降る中からの始まりでした。こんなに寒いなか！！と、改めて感じる人が多いなと思います。今日は、「東日本大震災犠牲者石巻市追悼式」に参列させていただこうと思っています。そして、17:30~は石巻復興マルシェにて「祈りの灯り 希望の灯り」という集いに参加してみようと思っています。



石巻市追悼式

*** 3. 災害対策本部からのお知らせ

速報！

公益社団法人日本医療社会福祉協会が「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状」を受領することが決まりました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

【1. 協力員募集】

*** 現 地

平成 25 年度 4 月～5 月の募集変更をお知らせ致します。

1). 4 月 1 日～4 月 14 日を募集休止期間とします。この期間の活動への参加のご応募受付致しません。

4 月 15 日以降は従来通りご応募を受付致します。1 日あたり上限 2～3 名で募集致します。中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。初回参加の方は活動日数を 3 日以上でご参加お願い致します。

2). 4 月 30 日～5 月 6 日を活動休止期間とします。

この期間の活動への参加のご応募は受付致しません。

今後、活動に参加される方で初回参加の方には、簡単な資料を郵送致します。

ホームページに活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧下さい。

*** 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1～2ヶ月に1回でも構いませんので、ご協力をお願い致します。

【2. 災害対策本部会議】

3月1日(金)19:00～協会事務所にて開催しました。

次回予定

4月19日(金)19:00～ 協会事務所にて開催します。

【3. 書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン I』の販売を行っています！

発災から2011年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



*** 注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

*現在『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトンII』を発行準備中

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしく願いいたします。

*** URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。

*** URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>



*** 4. 事務所感想文

*** 2/27 一原綾子

昨年6月まで事務所で働かせていただいていた一原です。今は海外におりますが、一時帰国にあたり、本日久しぶりに事務所にお邪魔しました。現地も事務所も、活動が脈々と受け継がれ、また進化し続けていることに感動しました。またお邪魔させていただきます。

*** 3/11 金子小夜子

先日昨年事務所業務を担当された一原さんが訪ねて下さいました。今の活動を日報、災害支援ニュース等で見て頂きました。

奇しくも今日、2回目の3月11日が廻ってきました。被災された方々の思い、支援される方々の思いが復興への道に続くことを願います。

*** 3/13 依光則子

発災後の3年目が始まりました。TVでも頻繁に震災関連のニュースが流れ、個人的にも再度被災地に伺い、震災への思いを新たにしています。復興はまだまだ、でもマスメディアのニュースはまた減っていくのでしょうか。バトンIIの原稿は徐々に揃って来ました。支援の記録を残していく重要性、伝える意義を改めてかみしめています。

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 25 年 3 月 15 日 第 2 卷 47 号
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦ すい（碓井）峠の関所跡

（群馬県安中市）